

管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）の改定の方向性（案）

1. 管理栄養士養成の教育との関係について

管理栄養士国家試験出題基準は、管理栄養士養成課程の教育で扱われるすべての内容を網羅するものではなく、これらの教育のあり方を拘束するものではない。また、本出題基準は科目間の重複をできるだけ少なくして、策定したものであり、管理栄養士養成課程の教育において科目間の重複を妨げるものではない点に留意すべきである。

2. 出題数及び出題数の配分並びに出題形式について

○出題数については、引き続き200題とする。

○出題数の配分については、前回に引き続き、各分野間の関連に配慮し、その重複を避け、分野横断的な設問については、応用力試験として取り扱うこととし、一部配分を変更することが望ましい（別表参照）。具体的には、栄養ケア・マネジメントを基本とした栄養管理を実践する上で必要な知識・理論、思考・判断力を備えているかについて評価が可能となるよう、最も適切なものを問うことが多い科目を中心に、10問を応用力試験に移行し、応用力試験の出題を20題から30題に変更する。また、応用力試験については、今後の改定後の管理栄養士国家試験の実施状況を勘案し、内容の更なる充実に向けて検討することが望ましい。

○出題形式に関しては、正しいもの（5つの選択肢から1つ又は2つの正解肢）を問う方式を原則とすることが望ましい。

表 管理栄養士国家試験 出題数の配分

	現行	修正案
社会・環境と健康	17問	<u>16問</u>
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	27問	<u>26問</u>
食べ物と健康	25問	25問
基礎栄養学	14問	14問
応用栄養学	16問	16問
栄養教育論	15問	<u>13問</u>
臨床栄養学	28問	<u>26問</u>
公衆栄養学	18問	<u>16問</u>
給食経営管理論	20問	<u>18問</u>
応用力試験	20問	<u>30問</u>
計	200問	200問